

平成30年度

飯島町水道事業会計決算審査意見書

飯島町監査委員

平成30年度飯島町水道事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

平成30年度飯島町水道事業会計

第2 審査の期日

令和元年6月21日

第3 審査の方法

町長から審査に付された決算財務諸表並びに決算報告書が、平成30年度における水道事業の経営成績と財政状態を適正に表示しているかどうかについて、会計諸帳簿及び例月出納検査との照合などにより検証した。

また、年度内の事業全般について関係職員から説明を求め、公営企業の基本原則である公共の福祉増進と経済性発揮の観点から審査した。

第4 審査の結果

損益計算書、貸借対照表等の決算財務諸表、並びに決算報告書及びその他付属書類については、計数に誤りなく適正に記帳されており、当会計年度における水道事業の経営成績及び財政状態を正確に表示しているものと認められた。

また、現金預金、基金の管理についても適正に行われていることを確認した。

第5 総括的意見

水道水の安定供給という重要な事業を担って、平成30年度も断水に至る大きな災害は無く自然災害は発生したものの取水停止はなく年度内の安定供給ができたことは評価に値するものであり、一年間積極的に水道の安定供給に努めた担当職員の取り組みに感謝したい。

町民の減少により給水人口も年々減少しているが、給水量等については前年とほぼ同量、収入総額は400万円程の減で前年とほぼ同様の利用状況であった。一方、有収率は77.6%と前年同様に良好な状況を確保したことは評価に値する。

今後は、平成23年度策定の水道ビジョンに掲げた目標有収率82.4%を目指して水道管の漏水減少、安定供給の必要性から、老朽化した水道管の布設替えにより一層取り組まれない。

また、当年度の純利益は2,110万円、前年度より596万円の増となり未処分利益剰余金は1億6,760万円と安定した経営状況が続いている。

しかし、現況は水道管や建物等の更新に資金が必要であり、加えて企業債の元利償還と多額の資金を必要としている。

一方、企業債の状況を見ると4%台の借入償還が進みつつあり、近年の借入利率は1%を下回っている。低利の新規借入れを検討して、耐用年数越えの水道管の更新や老朽化している建物の更新を具体的に検討する時期に来ており、早期に具体的な実施計画の確定が必要である。

最後に飯島町の規模に合った効率的な給水事業の運営を期待する。

第6 決算の概要

1 業務実績

平成30年度（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の業務実績は次表のとおりである。

(1) 業務実績

区 分		平成29年度	平成30年度	対前年度	比較
		(B)	(A)	(A) - (B)	(A)/(B)
年度末行政区域人口	(人)	9,577	9,446	-131	98.6%
年度末給水人口	(人)	9,463	9,332	-131	98.6%
年度末給水件数	(件)	3,725	3,727	2	100.1%
配水量	年間 (m ³)	1,175,650	1,166,223	-9,427	99.2%
	日平均 (m ³)	3,221	3,195	-26	99.2%
有収水量	年間 (m ³)	912,099	905,542	-6,557	99.3%
	日平均 (m ³)	2,499	2,481	-18	99.3%
1日最大配水量	(m ³)	4,118	4,271	153	103.7%
負荷率	(%)	78.2%	74.8%	-3.4%	95.6%
有収率	(%)	77.6%	77.6%	0.0%	100.0%
1人1日最大配水量	(ℓ)	435.2	457.7	22.5	105.2%
1人1日平均有収水量	(ℓ)	264.1	265.9	1.8	100.7%

(注) 配水量 = 年間総配水量（浄水して配水した水量）

有収水量 = メーター器を通過して課金される水量

負荷率 = 配水量（日平均） ÷ 1日最大配水量 × 100

有収率 = 有収水量（年間） ÷ 配水量（年間） × 100

1人1日最大配水量 = 1日最大配水量 ÷ 給水人口

1人1日平均有収水量 = 有収水量（年間） ÷ 日数（年間） ÷ 給水人口

(2) 給水人口・有収水量の推移

項 目		H12年	H22年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	
年度末行政区域人口	人	11,182	10,190	9,776	9,780	9,686	9,577	9,446	
給水人口	人	10,992	9,947	9,648	9,660	9,564	9,463	9,332	
有収水量	m ³	1,041,712	916,006	893,496	899,700	912,601	912,099	905,542	
内 訳	生活	m ³	779,031	718,669	706,382	711,637	723,073	715,282	710,189
	営業	m ³	122,464	124,451	125,642	125,303	124,861	125,233	125,256
	工場	m ³	128,367	62,315	56,396	57,613	57,271	63,405	62,725
	その他	m ³	11,850	10,571	5,076	5,147	7,396	8,179	7,372

当年度の業務実績をみると、平成31年3月31日現在の給水人口は9,332人であり、また、年間の配水量は1,166,223m³、有収水量は905,542m³である。水源別内訳は、表流水99.6%、地下水0.4%である。

2 予算の執行状況(決算報告書(消費税込み))

(1) 収益的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

【収益的収入】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)	収入率 (B)/(A)
営業収益		208,036,000	208,725,629	689,629	100.3%
営業外収益		26,360,000	21,146,865	-5,213,135	80.2%
合計		234,396,000	229,872,494	-4,523,506	98.1%

予算額234,396千円に対し、決算額は229,872千円であり4,524千円下回り、執行率は98.1%となっている。

営業収益の主なものは、給水収益(水道使用料)190,296千円(税抜き)である。

営業外収益の主なものは、長期前受戻入18,951千円である。

【収益的支出】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A) - (B)	支出率 (B) / (A)
営業費用		174,639,600	165,900,236	8,739,364	95.0%
営業外費用		39,426,000	37,919,716	1,506,284	96.2%
特別損失		1,000	0	1,000	0.0%
予備費		1,870,400	0	1,870,400	0.0%
合計		215,937,000	203,819,952	12,117,048	94.4%

予算額215,937千円に対し、決算額は203,820千円で、不用額は12,117千円であり、執行率は94.4%となっている。

営業費用の主なものは、減価償却費107,202千円、総係費22,875千円(税抜き)、配水及び給水費18,346千円(税抜き)である。

営業外費用の主なものは、企業債の支払利息30,349千円である。

(2) 資本的収入及び支出

予算執行状況は次表のとおりである。

【資本的収入】 (単位：円・%)

項目	区分	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B) - (A)
企業債		70,000,000	70,000,000	0
負担金		8,000,000	8,000,000	0
繰入金		500,000	500,000	0
合計		78,500,000	78,500,000	0

予算額78,500千円に対し、決算額は78,500千円で同額、執行率は100.0%となっている。

建設改良事業のための企業債借入金50,000千円、資本費平準化債20,000千円である。

【資本的支出】

(単位：円・%)

項目 \ 区分	予算額 (A)	決算額 (B)	不用額 (A)-(B)
建設改良費	129,261,000	125,044,794	4,216,206
企業債償還金	111,861,000	111,860,406	594
資産購入費	1,010,000	958,932	51,068
合計	242,132,000	237,864,132	4,267,868

予算額242,132千円に対し、決算額は237,864千円で、不用額は4,268千円となり、執行率は98.2%となっている。

建設改良費の主なものは、上水道配水管布設替工事（高遠原自治会 町道七久保大横道線、本郷第六自治会 町道与田切川幹線、本郷第一自治会 町道本郷幹線新町自治会 町道一ツ石支線2号線 他）の8件、計75,340千円（税抜き）、樽ヶ沢浄水場 浄水濁度計更新工事 2,300千円（税抜き）である。

企業債償還金は前年度より7,627千円増の111,860千円であった。

【資本的収支の不足額補てん内訳】

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額の補てん財源は次表のとおりである。

(単位：円)

区分	収入	支出	不足額	補填財源
決算額	78,500,000	237,864,132	159,364,132	過年度分損益勘定留保資金
				150,067,560
				当年度分損益勘定留保資金
				0
				当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額
				9,296,572
				建設改良積立金
				0

3 経営成績（損益計算書(消費税抜き)）

経営成績は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成29年度	平成30年度	対前年度	比較
	(B)	(A)	(A) - (B)	(A) / (B)
総収益 a	218,405,719	214,423,481	-3,982,238	98.2%
総費用 b	203,265,969	193,319,823	-9,946,146	95.1%
差引損益 a-b	15,139,750	21,103,658	5,963,908	-
総収支比率 a/b	107.4%	110.9%	3.5%	-

総収益は214,423千円、総費用は193,320千円であり、差引収益は21,103千円の純利益を生じ、総収支比率は110.9%である。

なお、前年度繰越利益剰余金146,499千円に当年度純利益21,103千円を加えると、当年度未処分利益剰余金は167,602千円である。

経常収支比率の推移は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
経常収益 a	214,580,745	217,020,783	218,405,719	214,423,481
経常費用 b	208,283,988	202,519,138	203,265,969	193,319,823
差引経常収益(損益) a-b	6,296,757	14,501,645	15,139,750	21,103,658
経常収支比率 a/b	103.0%	107.2%	107.4%	110.9%

※ 経常収支比率とは、経常収益（営業収益＋営業外収益）と経常費用（営業費用＋営業外費用）を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。

(1) 供給単価と給水原価の比較

有収水量 1 m³当りの供給単価と給水原価の推移は次表のとおりである。

(単位：円・m³)

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給水収益	188,254,567	190,605,618	191,273,551	190,295,908
年間総有収水量	899,700	912,601	912,099	905,542
供給単価 a	209.24	208.86	209.71	210.15
給水原価 b	207.48	198.65	197.98	191.24
比較 a-b	1.76	10.21	11.73	18.91

※ 供給単価＝給水収益÷年間総有収水量

給水原価＝(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費))÷年間総有収(給水)量

供給単価は、前年度と横並びとなり、給水原価は前年度より6円程度減少した。その結果、供給単価から給水原価を差し引いた額は18円91銭の黒字となっている。

(2) 収 益

収益は次表のとおりである。

(単位:円・%)

区分	平成29年度		平成30年度		対前年度 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比		
営業収益	194,562,851	89.1%	193,414,964	90.2%	-1,147,887	99.4%
給水収益	191,273,551	87.6%	190,295,908	88.8%	-977,643	99.5%
受託工事収益	945,000	0.4%	955,500	0.4%	10,500	101.1%
その他営業収益	2,344,300	1.1%	2,163,556	1.0%	-180,744	92.3%
営業外収益	23,842,868	10.9%	21,008,517	9.8%	-2,834,351	88.1%
加入金	2,050,000	0.9%	1,640,000	0.8%	-410,000	80.0%
受取利息及び配当金	228,689	0.1%	311,135	0.1%	82,446	136.1%
長期前受金戻入	21,473,232	9.8%	18,951,173	8.8%	-2,522,059	88.3%
雑収益	90,947	0.1%	106,209	0.1%	15,262	116.8%
合 計	218,405,719	100.0%	214,423,481	100.0%	-3,982,238	98.2%

収益合計は214,423千円であり、前年度より3,982千円減少した。

① 営業収益

営業収益は、前年度より1,148千円(0.6%)減少した。これは、主に給水収益978千円(0.5%)、その他営業収益181千円(7.7%)減少したことによるものである。

② 営業外収益

営業外収益は、前年度より2,834千円(11.9%)減少した。これは、主に長期前受金戻入2,522千円(11.7%)、加入金410千円(20.0%)減少したことによるものである。

(3) 費用

費用は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成29年度		平成30年度		対前年度	比較
	決算額 (B)	構成比	決算額 (A)	構成比	(A)-(B)	(A)/(B)
営業費用	170,117,013	83.7%	162,899,333	84.3%	-7,217,680	95.8%
原水費	2,358,451	1.2%	2,245,591	1.2%	-112,860	95.2%
浄水費	8,646,945	4.3%	10,560,477	5.5%	1,913,532	122.1%
配水及び給水費	17,250,980	8.5%	18,346,213	9.5%	1,095,233	106.3%
受託工事費	900,000	0.4%	910,000	0.5%	10,000	101.1%
総係費	27,577,435	13.6%	22,875,089	11.8%	-4,702,346	82.9%
減価償却費	109,667,089	53.9%	107,201,639	55.5%	-2,465,450	97.8%
資産減耗費	3,402,455	1.7%	476,724	0.2%	-2,925,731	14.0%
その他営業費用	313,658	0.1%	283,600	0.1%	-30,058	90.4%
営業外費用	33,148,956	16.3%	30,420,490	15.7%	-2,728,466	91.8%
支払利息	32,974,806	16.2%	30,348,916	15.7%	-2,625,890	92.0%
雑支出	174,150	0.1%	71,574	0.0%	-102,576	41.1%
合 計	203,265,969	100.0%	193,319,823	100.0%	-9,946,146	95.1%

費用合計は193,320千円であり、次の要素により前年度より9,946千円（4.9%）減少している。

① 営業費用

営業費用は、前年度に比べ7,218千円（4.2%）減少している。これは、主に浄水費1,914千円（22.1%）、配水及び給水水費が1,095千円（6.3%）増加しているものの、職員の給与等に係る総係費4,702千円（17.1%）、減価償却費2,465千円（2.2%）、資産減耗費が2,926千円（86.0%）減少したことによるものである。

② 営業外費用

営業外費用は、前年度より2,728千円（8.2%）減少している。これは、企業債の支払利息が2,626千円（8.0%）減少したことによるものである。

4 財政状況（貸借対照表(消費税抜き)）

(1) 資産

平成31年3月31日現在の資産の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成29年度		平成30年度		対前年度 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比		
固定資産	2,911,167,028	88.0%	2,920,158,782	89.3%	8,991,754	100.3%
有形固定資産	2,908,842,028	87.9%	2,917,988,782	89.2%	9,146,754	100.3%
土地	14,854,083	0.4%	14,854,083	0.5%	0	100.0%
建物	3,325,257	0.1%	3,071,969	0.0%	-253,288	92.4%
構築物	2,769,708,158	83.7%	2,786,140,453	85.2%	16,432,295	100.6%
機械及び装置	118,107,535	3.6%	110,479,860	3.4%	-7,627,675	93.5%
車両及び運搬具	13,564	0.0%	13,564	0.0%	0	100.0%
工具器具及び備品	2,833,431	0.1%	3,428,853	0.1%	595,422	121.0%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	
無形固定資産	2,325,000	0.1%	2,170,000	0.1%	-155,000	93.3%
水利権	2,325,000	0.1%	2,170,000	0.1%	-155,000	93.3%
流動資産	395,231,212	12.0%	351,121,425	10.7%	-44,109,787	88.8%
現金・預金	391,893,066	11.9%	343,768,180	10.5%	-48,124,886	87.7%
未収金	2,943,926	0.1%	6,868,025	0.2%	3,924,099	233.3%
貯蔵品	394,220	0.0%	485,220	0.0%	91,000	123.1%
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	
合計	3,306,398,240	100.0%	3,271,280,207	100.0%	-35,118,033	98.9%

資産合計は3,271,280千円であり、次の要素により前年度より35,118千円（1.1%）減少している。

① 固定資産

固定資産は、前年度より8,992千円（0.3%）増加している。これは、主に機械及び装置が7,628千円（6.5%）減少しているものの、有形固定資産の構築物が16,432千円（0.6%）増加したことによるものである。

② 流動資産

流動資産は、前年度より44,110千円（11.2%）減少している。これは、主に未収金が次のとおり3,924千円（133.3%）増加したものの、現金・預金が48,125千円（12.3%）減少したことによるものである。

(a) 未収金

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
営業未収金	2,854,346
給水収益（水道料金）未収金	2,816,846
その他営業未収金（開閉栓手数料他）	37,500
営業外未収金（古メーター売却収益他）	62,879
その他未収金（消費税還付金）	4,030,800
貸倒引当金	-80,000
合 計	6,868,025

(b) 貯蔵品

内訳は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
材料（VAジョイント他）	485,220
合 計	485,220

(2)負債・資本

平成31年3月31日現在の負債・資本の状況は次表のとおりである。

(単位：円・%)

区分	平成29年度		平成30年度		前年対比 (A)-(B)	比較 (A)/(B)
	金額 (B)	構成比	金額 (A)	構成比		
負債	2,010,155,485	60.8%	1,953,933,794	59.7%	-56,221,691	97.2%
固定負債	1,396,371,455	42.2%	1,354,932,678	41.4%	-41,438,777	97.0%
企業債	1,396,371,455	42.2%	1,354,932,678	41.4%	-41,438,777	97.0%
建設改良等の財源	1,386,371,455	41.9%	1,324,932,678	40.5%	-61,438,777	95.6%
その他企業債	10,000,000	0.3%	30,000,000	0.9%	20,000,000	300.0%
流動負債	117,175,588	3.6%	112,843,847	3.4%	-4,331,741	96.3%
企業債	111,860,406	3.4%	111,438,777	3.4%	-421,629	99.6%
建設改良等の財源	111,860,406	3.4%	111,438,777	3.4%	-421,629	99.6%
未払金	3,497,084	0.1%	13,070	0.0%	-3,484,014	0.4%
引当金	1,699,000	0.1%	1,392,000	0.0%	-307,000	81.9%
賞与引当金	1,433,000	0.0%	1,148,000	0.0%	-285,000	80.1%
法定福利費引当金	266,000	0.0%	244,000	0.0%	-22,000	91.7%
その他流動負債	119,098	0.0%	0	0.0%	-119,098	皆減
繰延収益	496,608,442	15.0%	486,157,269	14.9%	-10,451,173	97.9%
長期前受金	496,608,442	15.0%	486,157,269	14.9%	-10,451,173	97.9%
工事負担金	81,100,441	2.4%	86,029,684	2.6%	4,929,243	106.1%
補助金	23,194,683	0.7%	22,456,692	0.7%	-737,991	96.8%
その他長期前受金	392,313,318	11.9%	377,670,893	11.6%	-14,642,425	96.3%
資本	1,296,242,755	39.2%	1,317,346,413	40.3%	21,103,658	101.6%
資本金	514,875,197	15.6%	514,875,197	15.7%	0	100.0%
剰余金	781,367,558	23.6%	802,471,216	24.6%	21,103,658	102.7%
資本剰余金	533,368,948	16.1%	533,368,948	16.4%	0	100.0%
その他資本剰余金	533,368,948	16.1%	533,368,948	16.4%	0	100.0%
利益剰余金	247,998,610	7.5%	269,102,268	8.2%	21,103,658	108.5%
減債積立金	11,000,000	0.3%	11,000,000	0.3%	0	100.0%
本取水施設管理 基金積立金	90,500,000	2.7%	90,500,000	2.8%	0	100.0%
当年度未処分 利益剰余金	146,498,610	4.5%	167,602,268	5.1%	21,103,658	114.4%
合計	3,306,398,240	100.0%	3,271,280,207	100.0%	-35,118,033	98.9%

負債・資本合計は3,271,280千円であり、前年度より35,118千円(1.1%)減少している。

① 負債

負債は、固定負債1,354,933千円、流動負債112,844千円、繰延収益486,157千円の合計1,953,934千円であり、流動負債中の未払金は次表のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
未払金	13,070
営業未払金（水道水質管理負担金）	13,070
営業外未払金（消費税）	
その他未払金	
その他流動負債（預り金）	

② 資本

資本は、資本金514,875千円、剰余金802,471千円の合計1,317,346千円である。

③ 実質流動比率及び資金不足比率

実質流動比率は、311.2%であり、極めて健全であるといえる。

資金不足比率はマイナスのため資金不足は生じていない。

(単位：円)

	平成30年度	平成29年度	備 考
実質流動化率	311.2%	337.3%	200%以上は良好
資金不足比率	—	—	数値はマイナスとなる